

きりたっぷ湿原トラス

この湿原をこどもたちへ



2010年9月

No.94

い・る・ど・り ~ 秋の朝霧 ~

天気も安定して日に日に秋色が濃くなってゆくこの時季、青い空に白い雲が流れる昼間の湿原も気持ちいいけれど...

一番楽しみにしているのは夜明け前、少し明るくなりはじめた湿原を漂う朝霧。前日からの天気良く風も無い夜が明けるとよく出会える。

日の出1時間ほど前に琵琶瀬展望台へと向かう。途中、仲の浜や琵琶瀬あたりでは目の高さに漂う霧の中を抜けて行くことも多い。坂を登り切って湿原を見渡すと低く漂う青白い霧。湿原の中の木立を包みながら、川の蛇行の奥を手前を、ゆったりと流れながら。

霧が好きなのは境界線が「あいまい」だから。家々や街の灯りを程よく覆い隠して、日常生活や現実の時間から少し離れさせてくれる。そして、見せてくれる幻想的な世界。

でも、そんな世界を楽しんでいられる時間はそう長くない。次第に明るさが増し太陽が顔を出すと、差し始めた光の中で霧は次第に薄くなり、やがて消えてゆく。幻想的な世界も終わりを告げ、現実の時間が動きだし1日が始まる。



写真家 大坪俊裕

陽だまり 「廃校キャンプ」

きりたっぷ子ども自然クラブでは、昨年に続いて2回目の廃校キャンプを8月8日～10日の2泊3日で行いました。今年は、貫人小をお借りしてのキャンプです。

子どもたちは、キャンプが始まる前からそれぞれに自分のメインを決めていたようで、会った瞬間、「僕のメインは化石採りだ!」「俺のメインは魚釣りだ!」と口々に叫んでくれました。1つ目のメインの化石採りは、ポンポロト海岸で行い、地元の人には「もう、無いんじゃないかなあ」と言われていましたが、思いがけず大きなアンモナイトを発見できて子どもたちは大興奮でした。



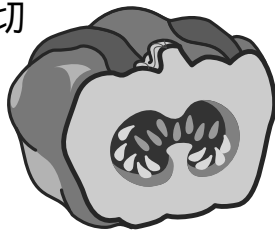
2つ目のメインの海釣りは、自分たちで作った手作り棹で釣りをしました。霧多布漁港ではアブラコやカジカが釣れ、最終日の朝早く起きて行った貫人漁港では、コマイがたくさん釣れました!

私の心に残ったことは、小学3年生からボランティアの中学生・高校生まで、違う学校、違う歳の23人の子どもたちが仲良く遊んでいたことです。ハンカチ落としやドッジボール、かくれんぼなどの遊びを楽しんでいたことが印象的でした。貫人小のホールに寝袋を並べてみんなで寝たことも、ご飯を作って食べたことも思い出に残ってくれるといいな、と思います。ご協力いただいた貫人地区の皆さんも本当にありがとうございました。(美奈)



はまなかグルメ 第29品 ~ 昆布とかぼちゃの梅マヨ和え ~

9月に入っても暑い日が続きますね。暑い日にピッタリの夏バテ防止・スタミナばっちりの料理を紹介します。梅干しとマヨネーズの酸味で、さわやかに暑い日乗り切れそうです。野菜もたくさんなので栄養満点。ぜひお試しください。(美奈)



材料(四人分)

- きざみ昆布 : 適量
- かぼちゃ : 1/4個
- ササギ(いんげん) : 適量
- 枝豆 : 適量
- コーン : 適量
- マヨネーズ : 大さじ2
- 梅干し : 2個
- 塩、砂糖、コショウ : 適量

作り方

かぼちゃ、ササギ(いんげん)をゆでる。枝豆、コーンもゆでて実をばらしておく。きざみ昆布は水でもどす。梅干しは種をとり、皮ごときざんでおく。の材料をボールにいれて、マヨネーズ、梅干しで和える。塩・砂糖・コショウで好みの味にととのえて、出来上がり。

レシピ提供
こなな 加藤千恵子さん